

ふるさと再発見 第90回

Re:discovery Omihachiman

安土城築城450年③

安土のセミナリヨ

今回は織田信長が安土城を築いた頃に作られた安土のセミナリヨについて紹介します。

織田信長は永禄12(1569)年にイエズス会の宣教師のルイス・フロイス、修道士ロレンソと岐阜城で面会し、そこで京都におけるキリスト教の布教を認めています。それ以降キリスト教の保護を行っていきますが、それは安土の地に拠点を移してからも続きました。

セミナリヨとは、キリスト教イエズス会の司祭や修道士を育成するための初等教育機関であり、小神学校と言います。『信長公記』には天正8(1580)

年3月18日に安土御構の南である新道の北に、堀秀政らに入江を掘らせて、田を埋めて伴天連に御屋敷を下したとの記録が残ります。織田信長はイエズス会のオルガンチーノ神父に安土の土地を与え、そこにセミナリヨが作られました。セミナリヨは3階建ての建物で、1階に茶室のついた座敷、2階に神父の居室、3階に教室と生徒の寮があり、和風の高層建築だったと考えられています。屋根には安土城と同じ青色の瓦が葺かれ、建物の周りには石垣もありました。ここには後に長崎で殉教する三木パウロら20数名の生徒が集め



VR 安土城天主俯瞰で再現されたセミナリヨ

られました。授業では、日本では布教するために必要な日本文学のほか、キリスト教教理、ラテン語、修辞学、音楽などが教えられました。音楽ではオルガンやヴィオラの演奏、合唱などが行われていたと伝えられています。セミナリヨには連日さまざまな人が訪れており、イエズス会の報告では、織田信長もセミナリヨを訪れ、楽器の演奏や生徒の合唱を聞いて楽しんでいただと伝えられています。

しかし、天正10年に本能寺の変で信長が亡くなると、セミナ

リヨもなくなりました。その後、セミナリヨは京都・高槻・大坂へと移転し、豊臣秀吉による禁教令のち、有馬のセミナリヨに統合されます。さらに、慶長19(1614)年に徳川家康による禁教令により廃校となりました。

現在、安土町には「大白」という小字があり、この付近がセミナリヨの推定地とされています。現地には石碑が建てられて、「セミナリヨ公園」として整備されており、人々の憩いの場となっています。

文(文化振興課・森山)



セミナリヨ公園

広報おうみはちまんは、各自治会を通じてお届けします。また、各学区コミュニティセンターや図書館などの公共施設、郵便局、金融機関、セブン-イレブン・ファミリーマート各店舗などに置いているほか、市ホームページやマチイロ、マイ広報紙などでもご覧いただけます。

YouTube



Instagram



マチイロ



マイ広報紙



LINE



人口と世帯

令和8年5月1日現在
()は前月比

総数	81,667人	(+ 28)
男	40,140人	(+ 2)
女	41,527人	(+ 26)
世帯	36,606世帯	(+ 54)

※外国人住民(42か国・地域/2,419人)を含みます。